

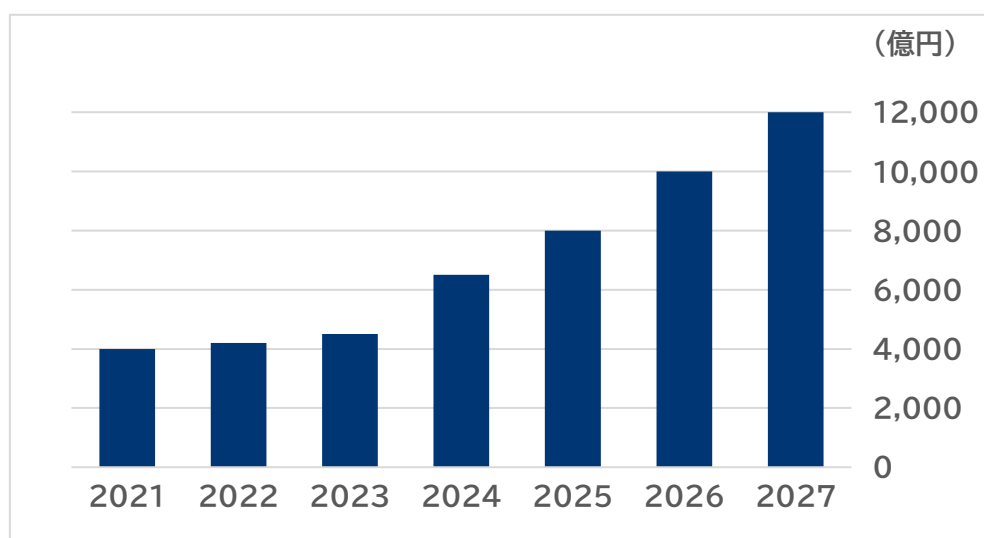
2025年11月5日
株式会社SVPジャパン

SVP注目市場分析 「AI関連システム構築・活用支援サービス」を公開 ～企業のAI活用を支える構築・運用支援ビジネスの現状と展望～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「AI関連システム構築・活用支援サービス-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ AI関連システム構築・活用支援サービスの国内市場



AI関連システム構築・活用支援サービスは、企業のAI導入を支援するもので、コンサルティングやソフトウェア開発、クラウドAIの選定・導入、運用・保守支援、AI人材育成など多様なサービスなどが提供されている。ChatGPTの登場を契機に生成AIの導入支援が急拡大し、Microsoft、Google、Amazonが提供しているサービスを中心に、国内の大手SIerなどが生成AIの提案に力を入れており、日本語特化型のLLMの開発や、導入支援サービスの体系化に取り組んでいる。

2024年の市場規模は約6,500億円と推定され、前年比40%超の成長を記録。製造業・金融業のDX投資や人手不足が深刻な流通業・建設業、さらに地方自治体での導入が拡大しており、2026～2027年には1兆円を超える見通しである。

■ AI関連システム構築・活用支援サービスの市場概況

市場は大手SIerを中心に形成されており、業務システムへのAI導入や継続的な運用・改善を支援するサービスが提供されている。

SIerは、NEC、日立製作所、富士通などのメーカー系、伊藤忠テクノソリューションズ、SCSK、NTTデータなどのユーザー系、大塚商会、TIS、BIPROGYなどの独立系に大別される。さらに、ABEJA、AI inside、ELYZA、neoAIといったAI開発スタートアップや、アクセンチュア、デロイト トーマツ グループなどのコンサルティングファームが加わり、産業構造は多層化している。

国内のシステムインテグレーション市場では、富士通、NTTデータ、NEC、日立製作所の4社が上位のシェアを占めており、これら大手企業が市場を牽引している。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

12月のテーマは「通信キャリア (MNO)」と「格安スマホ (MVNO)」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com